

## 平成26年度事業計画【変更追加分】

### 【Ⅰ】はじめに

これまで社団法人として活動していた本連盟も、平成25年5月31日付をもって公益社団法人北九州市私立保育園連盟として再出発することとなった。

公益社団法人として認可された上は、これまでより以上に公益性のある活動を行い、広く一般社会に向けて発信していくことが求められることとなった。

殊に、北九州市の市政方針の中でもとりわけ「子育て日本一を実感できるまちづくり」を重点施策としていることから、市との連携を緊密にしながら、本市の子どもたちの育ちは固より、子育て家庭の皆様が明るく楽しく子育てできる一助となるように、本市保育所連盟、保育士会とも連携を密にしながら公益事業を実践してまいりたい。

さて、国においては昨年4月から「子ども・子育て会議」が開催され、平成27年度からの実施を目指す「子ども・子育て支援新制度」の検討が行われているところである。この新制度の制定にあたって、全保協・日保協・全私保連の保育三団体が意見の統一を図り、共同提案を行うことが実現したことは、我々保育関係者にとっては力強い成果だと受け止めている。いよいよ今回の制度の中核ともなる「公定価格」の論議が始まり、その内容も示されようとしている。今回の新制度が子どもの育ちにとって、これまでより以上により良い保育・教育制度となることを願わずにはいられない。しかし、どのような制度が構築されようとも、私たちの保育にかけるその思いは「視点はずっと子どもたち」に置いたものであることを再確認しながら、全国の保育組織と連動して行動することは必要不可欠であると信じる。このことを念頭に置いて各委員会の充実・発展を図る上からも全私保連と連動した委員会を設置して活動の輪を広げていきたい。

以上のことから今年度の事業計画を次のとおり策定した。

### 【Ⅱ】専門委員会等活動計画

#### 1. 総務委員会

本連盟が今後公益法人として円滑な運営ができるよう事業を推進する。

- (1) 全私保連組織に準じ、委員会組織活動の充実を図る。
- (2) 新設保育園の加盟を促進して、組織の充実と強化発展を図る。
- (3) 行政機関及び福祉関係団体と連絡調整を図る。
- (4) 必要に応じて連盟の関係諸規程の見直しを行う。
- (5) 子育てフェスティバルの開催 【公益事業3】

①北九州市保育士会が毎年開催している出前育児教室の共催

◇開催日時：平成26年9月6日（土）

◇参加者数：約200名

②地域の子育て支援における保育園の役割や目的を広く市民に理解してもらい、地域社会との連携を深めることを目的として行う。

◇開催日時：年1回 企画・実施する

◇参加者数：約300名

(6) 組織強化支援等に関する事業の促進 【その他事業2】

ちびっこくらぶ等の子どもの事故に対しての保険加入促進はもとより、私保連の事業を円滑に促進するための収益事業について検討する。

(7) 事務事業の受託

①民間保育所運営補助金申請事務の補助事業 【その他事業1】

民間保育所（園）が、四半期ごとに北九州市へ申請する民間運営補助金の申請事務の一部業務を補助する。

②ほっと子育てふれあいセンターの経理等事務補助 【その他事業2】

(8) 青年会議への活動支援 【その他事業2】

当連盟の専門委員会活動への協力及び会員相互の連携や資質向上を図ることを目的とした活動への支援

(9) 公益社団法人北九州市私立保育園連盟のシンボルマークの作成

(10) 収益事業等の実施 【収益事業1】

当法人の公益事業を円滑に行うための財源確保の一つとして、法人が企業と代理店契約を結び、保育所（園）で使用する事務用品（消耗品、備品）等の発注等代理業務を行う。（事業の流れは別紙のとおり）

## 2. 予算対策委員会

(1) 公益事業を円滑に推進するために財源の確保に努める。

(2) 北九州市の「子ども・子育て会議」に積極的に関与し、子どもの最善の利益が守られるよう意見具申していく。また、北九州市が掲げている「子育て日本一を実感できるまちづくり」の実現に向けて、基本的方向を示す「元気発進！子どもプラン」に示された子育て支援対策のうち保育に関する施策が更に実現されるよう要望する。

(3) 定期的に行政（北九州市保育課）と「保育に関する意見交換会」を開催し、保育施策の提言・推進を図る。

(4) 市及び市議会に対し、請願・陳情活動を行い、民間保育所（園）に対する理解と認識を図るとともに保育制度並びに市単費助成の支援体制の拡充を図る。 【その他事業1】

(5) 北九州市保育所連盟 制度・予算対策部会、北九州市保育士会 保育制度検討委員会と協力し、保育制度改革に対し、時宜に即した予対活動の推進を図る。

(6) 九州保育三団体及び全私保連・全保協の予対活動と連動して、国の予算対策への積極的な取り組みを行う。

## 3. 調査・研修委員会

「保育環境の向上」と「民間保育所の運営の改善」を図るため、以下の事業に取り組む。

(1) 保育環境の向上

①総務委員会と連携し、「子育てフェスティバル」の開催に必要な取り組みを行う。

【公益事業3】

## ②研修会への参加

◇第57回全国私立保育園研究大会（会員等大会派遣旅費の一部補助：1支部4万円）

平成26年6月18日～20日 岩手県盛岡市・岩手県民会館

◇第1回九州保育三団体研究大会

平成26年7月23日～25日 福岡県・ヒルトン福岡シーホーク

## (2) 民間保育所（園）の運営の改善

民間保育所（園）の円滑な運営に資するため、次の事業を行う。

### ①保育士就職支援事業 【公益事業4】

保育士養成校の学生及び保育士証を有し、現在保育所（園）で就労していない保育士を対象に、保育所（園）への就職を支援するため、保育士就職支援説明会を北九州市からの受託事業として開催する。

◇8月24日（日）：個別説明会

会場内に保育所（園）がブースを設置し、就職を希望する学生等と面談を実施する個別的な説明会の開催

### ②新会計基準移行実務研修会

新会計基準移行前の施設を対象として、平成27年度の円滑な移行を図るために必要な実務研修会を開催する。

◇1月下旬開催予定

## 4. 広報委員会

各委員会と合同で会議を開催し、広報誌の内容を充実させるための構成、情報発信の方法等を検討する。

### (1) 休日等電話相談事業 【公益事業1】

近年の核家族化などにより子育ての知識の伝承がなく、隣人との関係が希薄化する中で育児に対する不安や悩みを抱える保護者が増加しており、育児に悩む保護者の相談に応じる。

①日 時：土曜日、日曜日 10時～16時

②相談員：有資格者（保育士：非常勤嘱託職員）

③対象者：子育て中の保護者等（祖父母などを含む）一般市民（不特定）

### (2) 広報誌の発行 【公益事業2】

子育てにおける授乳期から離乳食への移行時の不安やアレルギー食の対応などの食に関する課題、また子どもの言葉の遅れなど発育上の課題など、子育て中の身近な悩みや不安について、保護者に分かりやすい子育て関連情報や子育て支援に関するイベント情報等の提供を行う。

①発行部数等：定期発行 年2回

発行部数 1回 20,000部

②広報誌の配布：保育所（園）を始め、市民センターなど公共施設や小児科医院など乳幼児が集まる施設等で配布する。

(3) ホームページによる情報発信 【公益事業2】

当法人のホームページに子育て支援の情報を掲載しタイムリーな情報提供を行う。

①北九州市の子育て情報のホームページとリンクする。

②ホームページのサーバー維持管理、データの更新作業や障害の対応業務を（株）サーヴに委託する。

5. 諸会議の開催

(1) 理事会：平成26年5月中旬、平成27年3月中旬 他必要に応じて開催

(2) 定時総会：平成26年5月下旬

(3) 臨時総会：必要に応じて開催

(4) 定例施設長会：毎月1回（8月を除く） 【その他事業1】

民間保育所（園）相互の連携を図るとともに、行政（北九州市保育課）との連絡調整を図ることを目的として開催する。

(5) 常任委員会：毎月1回（8月を除く）

(6) 専門委員会：必要に応じて開催